

「高齢者交通事故多発地域」の指定について

1 指定日

秋の全国交通安全運動の実施期間(9月21日～30日)に合わせて取組を進めることができるよう、令和8年9月1日(火)を指定日とする。

2 高齢者交通事故多発地域の指定

令和8年上半期における、市区町村における65歳以上の高齢化率から、高齢者事故の推定値を算出し、高齢者事故の増加率が高い市区町村、又は高齢者の死亡事故が多かった次の13地域を指定する。

- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| ① 鶴見区 | ② 西区 | ③ 港北区 | ④ 川崎区 |
| ⑤ 中原区 | ⑥ 高津区 | ⑦ 宮前区 | ⑧ 麻生区 |
| ⑨ 横須賀市 | ⑩ 秦野市 | ⑪ 大和市 | ⑫ 伊勢原市 |
| ⑬ 愛川町 | | | |

3 県内の高齢者が関係する交通事故の現状

令和8年上半期の高齢者関係交通事故の死者数は28人で死者数全体の41.2%、さらに、全事故に占める高齢者関係事故は33.7%であり、いずれも高い水準となっていることから高齢者交通事故防止対策が重要課題となっている。

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年 (上半期)
全交通事故発生件数	21,098	21,870	20,750	21,324	10,406
高齢者事故件数	7,057	7,433	7,118	7,294	3,510
全事故に占める割合	33.4%	34.0%	34.3%	34.2%	33.7%
総人口	9,231,177	9,227,901	9,225,091	9,218,981	9,218,981
高齢者人口	2,324,007	2,326,294	2,334,481	2,340,694	2,340,694
高齢化率	25.8%	25.8%	25.9%	26.0%	26.0%
高齢者人口1万人当たり件数 (上半期平均)	14.4件	15.1件	14.6件	14.8件	15.0件

※ 総人口には年齢不詳を含んでいるが、高齢化率は年齢不詳を除いて算出している。

※ 令和7年及び令和8年(上半期)の総人口は、令和7年1月1日時点で算出

4 指定基準及び該当地域

(1) 指定基準

令和8年上半期中の高齢者が関係する交通事故の発生状況をもとに、次のいずれかの基準に該当した地域を指定する。

- ・指定基準①：各市町村の高齢化率により、高齢者関係事故件数の推定値を算出し、実際の高齢者関係事故件数と比較して、**その比率が50%以上増加している市区町村**
- ・指定基準②：高齢者が関係する事故の死者数が、**3人以上**の市区町村

(2) 該当地域 計13地域(8区4市1町)

ア 指定基準①

鶴見区、西区、港北区、川崎区、中原区、高津区、宮前区、麻生区、秦野市、伊勢原市、愛川町

イ 指定基準②

横須賀市、大和市

5 参考(高齢者事故の増加率が減少している地域)

瀬谷区、南足柄市、開成町、箱根町、湯河原町